

リーディングDXスクール事業【実践事例】

米子市立車尾小学校（鳥取県）

【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用②

～学級活動（3）「はるか先の自分たち」を目指して（4年）の実践を通して～

⑤振り返り（学習支援ソフト）

学習支援ソフトで振り返りを行うことで、一度に複数の目標を提示することができ、実践意欲につながった。

サポートする

6年生が安心することができるようなサポートの仕方です。

- 目的** 具体的に、を付け加えてもいいとあります。
- 理由** 例えばどんなサポートの仕方ですか。そこを付け加えてみい気があります。何個かあるならそれを付け加えればいいです。
- 視点** サポーター頑張ってください

学習支援ソフトのコメント機能を使い、相互評価をすることで、より実践意欲を高めることができた。



メリハリ

時間を守る
時間を見て行動する。
5分前行動をする。

レベルアップ

メリハリ

昼休憩が終わったら5時間目をすく始める。発表するときは発表して話し合うときは話し合うようにする。

⑥全体研をうけた他学年の取組み

学級活動（3）
「そうじ名人になろう」

・フォーム（つかむ）

サイレントそうじは、できていますか？

くふうして、もうひとりにくんでいますか？

そうじはできますか？

なぜ、そう思いましたか？

具体的に、を付け加えてもいいとあります。

目的

理由

視点

全体授業研究会をうけ、Google workspaceの活用をアレンジして実践した。

・Jamboard（見つける）



・学習支援ソフト（きめる）



学習支援ソフトで、背面の色を変えて目標を再設定し、より高い目標を設定するなど、継続して活用した。



動画、Jamboard、学習支援ソフト、フォーム